



指 導 聖 句

私は、こう祈ります。あなたがたの愛が、深い知識とあらゆる洞察を身に
着けて、ますます豊かになり、本当に重要なことを見分けることができま
すように。そして、キリストの日には純粹で責められるところのない者と
なり、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神を崇
め、賛美することができますように。

(聖書協会共同訳 フィリピの信徒への手紙 1:9-11)

目 次

P.1	主教挨拶	主教	フランシス	長谷川清純
P.2	チャプレン挨拶	司祭	ステパノ	越山哲也
P.3	教区婦人会会長挨拶			赤坂康子
P.4	第48回東北教区婦人会総会報告			梅津庸子
P.5	2023年度 各教会婦人会会員名、活動計画			
P.6	敬老基金運営委員会から		委員長	中村みどり
	会計からのお願い 会費、献金振込先			
P.7	お知らせ	役員紹介	編集後記	婦人会役員会連絡先

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」(ヘブライ 13:8)

主教 フランシス 長谷川清純



4月22日の主教按手式では教区の信徒、教役者はもちろん全国の皆さんから、そして教区婦人会から祝福を賜り、誠に有り難うございました。この大きな大きなお恵みの体験を忘れずに、主の栄光のために務めて参りたいと存じます。主教巡回を通して教区内諸教会の空気、雰囲気を感じて、信徒と牧師と共に心を一つにし、福音宣教のみ業にあずかる者になりたいと希望しています。どうか、これまで以上に主教のためご加祈くださいますようお願い致します。

さて、日本聖公会は宣教に関わる、伝道教区制導入による教区再編を目指すと総会で決議し、私たちは今まさに、真剣に取り組み始めました。東日本宣教協働区4教区のうちの北海道教区と東北教区の2教区間における宣教協働に向けて、3月から「チーム北国」がスタートしています。今後チーム北国から発信される情報に注目し、みなさまが関心をもって受け止め考えていただきますようお願い致します。

ところで、ここ何年か前から、古民家や蔵をカフェやパン屋、旅館などにリフォームするのが流行っています。古びた人が住まなくなった建物を、放置するのでも解体するのでもなく、古風で貴重な骨組みである立派な梁なんかを残し生かして、味わいのある新しい装いにし、見事に再生させています。そこの主役たちは、所謂都会の若者たちでユーターンした人や移住してきちゃった人たちです。たとえば町のシャッター通りとか、過疎化した田舎に暮らすのです。大抵皆さんニコニコ笑顔で、はつらつとしていて、活気に溢れています。色々なアイデアを試しては生き生きしています。古くて使い物になりそうでない物件が、新しい価値を付与されて、生き返っています。私は、教区や教会、教区婦人会のこれからを思う時、一つのヒントになるような気がしています。

「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」(マタイ 9:17)

私たちの教会にとっての新しいぶどう酒とは何でしょうか、新しい革袋になるにはどうしたら良いのでしょうか？ここで、しかし私たちには不変で完全な方イエス・キリストが、私たちを私たちたらしめているとの信仰が土台です。この方によって、私たちは変えられていくのです。この事こそが私たちの生命線です。



優しさに満たされて

司祭 ステパノ 越山哲也

「これからも神と人ともに仕え、人間の営みの中に隠された神の御業を洞察深く読み取り、恵みを取りついでください。」

この言葉は私が司祭按手を受けた時に頂いたお手紙の中に書かれていたもので、いつも部屋に飾って時折眺めて読み直しています。私たちキリスト者は主と共に神の国の完成という目標に向かってひたすらに歩み続けています。そして、神の国のしるしは私たちの日々の中に示されており、しかし私たちはそれに気づかないことが多いことかと思えます。その要因になるものは何でしょうか。日々の忙しさによって失われてしまっている心のゆとり、身体の衰えによる今後の人生への不安、止むことのない悲しい事件、事故、争い、災害も私たちの心を閉塞していきます。そして、それらは人それぞれだと思えますが、誰しもが大なり小なり日々抱えて生きています。

そんな閉塞感を打ち破るために必要なのは、私は「愛」、言い換えるならば誰かを大切に思う「優しさ」だと思うのです。指導聖句として選ばせて頂いたフィリピの信徒への手紙 1:9-11 を黙想します。私たちの心の中にある「愛」がますます豊かになって日々の生活の中に隠されている神さまの御業を一人一人が見つけ、それを分かち合っていくことを何よりも大切にしたいと思えます。



4月22日(土)に東北教区主教座聖堂(仙台基督教会)において主教按手式が行われフランス長谷川清純主教が東北教区第9代教区主教に就任されました。感染症対策のため参列者を制限した中ではありましたが大きな喜びに包まれた日となりました。説教者として立たれた笹森田鶴主教は、長谷川主教が東日本大震災という未曾有の災害に遭われた被災者の方々のもとへ赴いた時にすでにそこに復活された主イエス様がおられたことを何度も口にされていたことを紹介されました。愛する人を奪われ、大切なものをなくした絶望的な被災地、被災者の方々と共に歩み、共に生きておられる主の御姿を長谷川主教はしっかりと見据えて被災者支援の働きに従事され、そしてその思いは今もそしてこれからも変わらないと思えます。長谷川主教のために祈り、そして共に歩んで参りましょう。

今後の教区婦人会の歩みが祝され、そして本当に重要な事、しなければならないことをご一緒に見いだしていきたいと思っております。教区婦人会チャプレンの任を仰せつかりました。皆さま、どうぞよろしく願いいたします。



婦人会のこれから

東北教区婦人会 会長 赤坂康子

第48回東北教区婦人会が2月23日に仙台基督教会で開催されました。開会礼拝では2年前に与えられました指導聖句“希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満ちし、聖霊の力によって、あなたがたを希望に満ち溢れさせてくださいますように”に挙げられているように、神さまから与えられる希望の中に進んでほしい、と吉田雅人主教様から力強いご説教をいただきました。

東北教区では婦人会の存在する教会は6教会のみとなり、総会に出席する代議員も第42回総会までは16～17名の出席でしたが、東日本大震災の年を境に、その頃では考えられない人数までに減少してしまいました。お忙しい中、総会にご出席いただきました主教様はじめ聖職者の方々には本当に感謝でございました。議事では総会資料のページいっぱいの会務報告、きちんとした会計報告がなされ、この2年間コロナ禍に在りながら、いろいろと活動を続けてくださいました仙台の役員会の皆さまに感謝申し上げます。岩手県が引き受けるにあたり、この婦人会の現状を維持していけるのか不安でもありますが、神さまのお守りのもと、皆様のお力をお借りしながら、楽しく活動をしていきたいと思っております。

伝統と実績のある感謝箱献金（120年以上続けられているということはいつの時代も必要とされてきていたからでしょう）、被献日献金の働きを主なる活動目的としている日本聖公会婦人会に、各教会の婦人会、個人会員は繋がっています。小さい教会の婦人会、個人会員でも、集まると大きな力となって良き働きを続けることが出来ています。その組織の一員であることを会員の皆さまには誇りをもっていただきたいと思っております。

これからの婦人会を考えていく上で、今年度は次の2点を目標としたいと考えています。1つ目は婦人会の会員減少等の同じ悩みを持つ北海道教区婦人会と連絡を取り合い、情報交換しながら新しい道を探っていくこと。2つ目は個人会員を大事にして、小さい教会の信徒の方々との繋がりを持ち、お互いに他教会のために祈り合いたいと思っております。

教会でも多様な働き方があっていいと思っております。個人的に教会の奉仕に関わりたいと思う方もいらっしゃるし、組織に入って団体の中の一員として教会の奉仕に関わっていきたいと思われる方もいらっしゃいます。教区婦人会として“開く、ささげる”を頭におき、東北教区のために新しい方向性を見つけていけますように。婦人会が変わろうとしている今、特に若い方々の力、ご意見が必要です。この伝統ある婦人会の組織を新しい方向にステップアップ！よろしく願いいたします。



第48回東北教区婦人会総会の報告

東北教区前婦人会会長 梅津庸子



開会聖餐式でのお説教
吉田雅人主教

2月23日(木・祝)に主教座聖堂仙台基督教会で、対面での総会は4年ぶりで行われました。聖職者の方5名を含めて35名の方々が集いました。開会聖餐式ではこの3月末で退任された吉田雅人主教様が説教をしてください「困難な状況にあっても…私たちは偽りのない愛によって、真理の言葉、神の力によって、神様とともに働くことが求められている」「困難な状況にある人々のために、無関心ではなく関心をもって祈ること、支える働きをすることの」の大切さを語ってくださいました。

現在教区内では6つの教会婦人会と4名の個人会員がおります。総会では出席した代議員が4名で議事が進められました。特別に難しい議題はありませんでしたが、会則、細則の役員各県ごとの輪番で担当する、の箇所はさすがに現状に合いませんので改正・削除しました。役員任期は2年でこれまでは「再任は認めず」でしたが「再任は妨げない」となりました。ひんしゆくを買うような内容ですが、これは一つの役員会に責任と負担を負わずことでは決してなく、再任もあり得ることを現実としてとらえ、実際にそうなったときに対応がしやすいようにということで提案し承認していただきました。敬老基金運営委員会からは、「委員長は教区主教夫人とする」の条項を除いて「委員長は、委員によって互選されたものになる」と規約を変えた報告がありました。

午後からはスコット・ショウ先生のオルガン演奏と聖歌指導の時を持ちました。日聖婦被献日献金の支援を受けて開催しました。スコット先生の奏でるオルガンの優しい音色が心地よくて午睡に誘われた方もおられたようです。講義ではそれぞれの時代の変遷を経て、今の賛美に至るまでを短時間でお話してくださいました。限られた時間ではとても網羅できない豊富な内容でしたので、シリーズでお話が聞けたら良いなあと思いました。



講義をするスコット先生

コロナの蔓延状況によっては中止になる事も念頭にありましたので、総会の日を終え皆が無事に帰途についてほっといたしました。任期中(2021~2022年)の事も含めて会員の皆様、関係者の皆様にはご協力とお支えを頂きありがとうございました。

3月中旬に盛岡聖公会で引継ぎを終えて、新役員会が始動しました。教会婦人会の解散や退会した個人会員の方もおられて小さな集まりとなった教区婦人会ですが、未だにこの働きが持続されていることを不思議に思います。今一度日本聖公会婦人会の働きの本質を見据えてみたいと考えています。



2023年 婦人会・個人会員名と活動計画等



✿ 仙台基督教会婦人会 会員数 28名

3月…婦人会大斎リトリート 4月・12月…お祝いのカード発送
 9月…敬老祝会 8月・12月…日曜学校行事へ寄附
 11月…子どもの祝福式プレゼント贈呈、神学校(東京、京都)へ愛の宅急便発送

✿ 盛岡聖公会婦人会 会員数 21名

結婚式・洗礼・堅信式に祝品をプレゼント 花咲く頃にリンゴ園での野外礼拝
 教友訪問「いちょうの木の下で」(婦人会だより)の年3回の発行 日曜日礼拝堂清掃
 逝去者記念日・葬儀等の花の用意 復活祭・降誕日カードを信徒・遠方の教友に贈る

✿ 大館聖パウロ教会婦人会 会員数 10名

近隣教会の方々との交流を深める。大館幼稚園との話し合いを深めて協力体制を計り、地域にも開かれた場として活動していきたい(例…バザー等)

✿ 仙台聖フランシス教会婦人会 会員数 6名(役職は付けていません)

コロナ感染以前のような活動が出来ると良いのですが…

✿ 米沢聖ヨハネ教会婦人会 会員数 3名

教会の信徒としていろいろとご奉仕しています

✿ 釜石神愛教会婦人会 会員数 2名

✿ 個人会員 4名

全会員

皆さま、よろしく願いいたします!

74名

敬老基金運営委員会より

委員長 中村みどり

主の御名を賛美いたします

長い間委員長は主教夫人をと決まっておりましたが、諸般の事情により昨年11月の委員会で「委員長は委員によって互選された者になる」と改正されましたので、本年5月の委員会でいろいろ話し合った結果、この度新しく委員長を勤めさせていただく事となりました。

創設以来委員長は主教夫人でしたので、私を含めて何かと違和感を覚えておられる方も多いかと存じますが、これも時代の変化と心を入れ替えて、次の委員長が決まるまで微力ながら神様の御心にかなうよう祈りながら、皆様のために勤めさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

早速ですが、9月の敬老の日におむけて、今年88歳になられる(なられた)方へのお祝いを差し上げますので、皆様の教会で該当の方がおられましたら司祭様を通してお知らせ下さるようお願いいたします。(※調査票を7月に各教会牧師様宛に郵送いたします)なお、100歳になられる方につきましては、お知らせ頂いた時点でお祝いをお届けしたいと存じます。

お知らせ

★6月20, 21日に日本聖公会総会后第1回会長会が横浜聖アンデレ教会で開催されます。会長の赤坂康子と越山香菜子が出席予定です。会長会への東北教区婦人会からの提出議案は、感謝箱献金お献げ先に関する件として以下の2点です。

- ①「地域支援団体釜石支援センター望」への活動支援として、2023年度に10万円をお捧げする
- ②「一般社団法人 すこやかなの会ふくしま」の活動支援のために、2023年度に10万円をお捧げする

★4月22日に長谷川清純主教様の按手式があり、会長が参加して教区婦人会からお祝いを差し上げました。

★5月10日(水)敬老基金運営委員会(於：仙台キリスト教会)に会長が傍聴者として参加いたしました。

★2022年度「リーストコインの交わり」報告がアジア教会婦人会議日本委員会(ACWCJ)から届きました。コロナ禍にありながらも日本国内における献金総額は2,658,592円で、世界各地の弱い立場にある女性や子供たちのための働きに大切に用いられました。

編集後記：厳しい冬を過ごして迎えた東北の春。一斉に芽吹く花々や木々の緑が芽吹きキラキラ輝いています。この4月には、吉田雅人主教様を京都にお送りし、第9代東北教区主教として長谷川清純主教様をご就任され、東北教区は喜びと希望にあふれ新たなスタートをいたしました。私たち教区婦人会も、できること、なすべきこと、1つ1つ丁寧に取り組み、教区の宣教協働体として“協働すること”ができれば幸いです。

皆様どうぞよろしくお願いたします。(坂水)

個人会員を募集!

教区婦人会から離れた教会、また元婦人会員でない方でも、東北教区婦人会の働きに賛同なさる方は、どなたでも個人会員として入会できます。下記連絡先までお知らせください。お待ちしております。

※「東北教区婦人会だより」から一部抜粋して掲載

2023年5月21日